

所属名	事務事業名	ページ番号
危機管理防災課	消防施設等整備事業	2
危機管理防災課	常備消防負担金	3
危機管理防災課	防災航空隊運営経費負担金事業	4
危機管理防災課	消防団員管理事業	5
危機管理防災課	佐賀県消防操法大会出場経費	6
危機管理防災課	消防水利整備事業	7
危機管理防災課	消防施設等維持管理事業	8
危機管理防災課	防災備蓄整備事業	9
危機管理防災課	地域防災計画管理事業	10
危機管理防災課	自主防災組織育成事業	11
危機管理防災課	避難確保計画推進事業	12
危機管理防災課	避難所運営管理事業	13
危機管理防災課	水防対策事業	14
危機管理防災課	水防センター維持管理事業	15

令和7年度 公共事業進捗報告シート

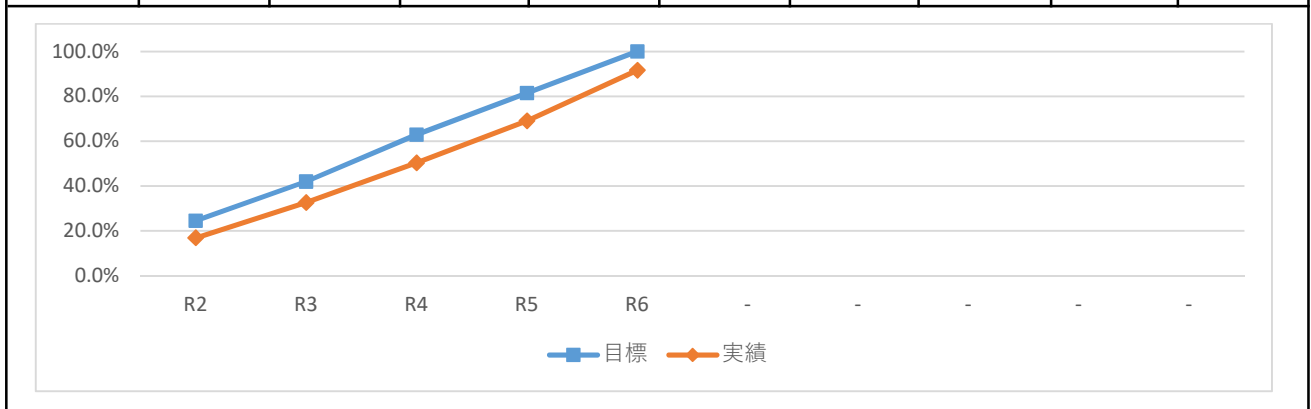
公共事業名	消防施設等整備事業		事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係		担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち		
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実		
	基本事業	消防・救急体制の充実		

1 公共事業の基本情報

整備概要	・小型動力ポンプ付積載車、消防ポンプ自動車の整備 ・消防格納庫の整備 (事業の進捗率は、総合計画・後期基本計画期間のR2～R6で進捗を示す)				
整備の目的	消防団の消防ポンプ、ポンプ積載車、消防格納庫の消防設備の整備を計画的に進めるとともに、消防設備の整備及び更新を図り、火災発生時の消火活動に支障が出ない体制をつくる。				
事業費決算 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
工事請負費	143,493	94,680	96,890	119,551	144,622
測量・監理等委託料	6,230	8,511	6,473	9,787	9,975
用地購入費	21,842	18,097	14,142	10,629	10,260
補償費	3,898	751	826	210	199
その他事務費等	74,219	70,180	97,629	88,823	109,092
計	249,682	192,219	215,960	229,000	274,148
うち佐賀市の負担	2,811	5,419	2,260	10,374	4,729
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					599,236
測量・監理等委託料					40,976
用地購入費					74,970
補償費					5,884
その他事務費等					439,943
計					1,161,009
うち佐賀市の負担					25,593

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	24.5% 16.8%		42.0% 32.6%		62.9% 50.3%		81.4% 69.1%		100.0% 91.6%					



令和7年度 事務事業実績報告シート

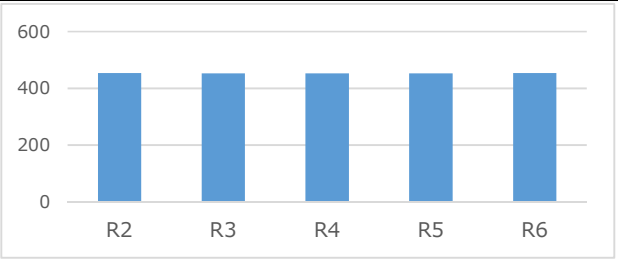
事務事業名	常備消防負担金	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係	担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	消防・救急体制の充実	

1 事務事業の基本情報

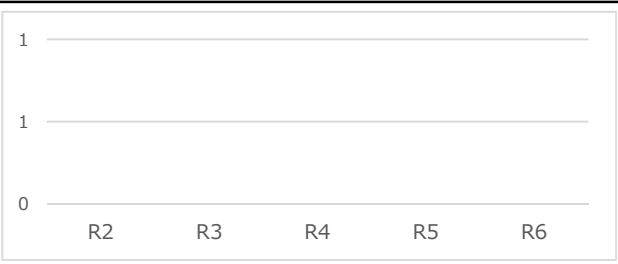
事業概要・目的	佐賀中部広域連合の消防運営経費に対するの負担金を支出する。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	佐賀中部広域連合規約第15条、佐賀中部広域連合の運営に関する協定書				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	3,075,945	3,140,096	3,172,059	3,196,108	3,196,386
うち佐賀市の負担額	3,075,945	3,140,096	3,172,059	3,196,108	3,196,386

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
佐賀広域消防局の職員数					人
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
454	453	453	453	454	



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

上記活動実績の設定により、負担金の支出を通じ、佐賀広域消防局の運営に寄与し、消防・救急体制の充実に資する。

令和7年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	防災航空隊運営経費負担金事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係	担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	消防・救急体制の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	消防組織法第30条により、市町の長の要請に応じ、航空機を用いて市町の消防を支援するため、佐賀県が佐賀県防災航空隊を設置し、隊員として消防本部等から派遣されている職員を充てている。その人件費に相当する額を各市町が負担金として支払うことにより、佐賀県防災航空隊の円滑な運営を図る。				
事業の対象者	県民				
根拠法令等	防災航空隊の運営に関する協定				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	13,375	14,066	14,207	14,768	14,109
うち佐賀市の負担額	13,375	14,066	14,207	14,768	14,109

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
出動回数（訓練以外）					回	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
0	36	32	32	39		
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

上記活動実績の設定により、負担金の支出を通じ、佐賀県防災航空隊の運営に寄与し、消防・救急体制の充実に資する。活動実績については、事故や災害等の発生状況により異なる。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	消防団員管理事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係	担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	消防団とは地域の安全を維持するために必要な組織である。その消防団活動に必要な被服の貸与、報酬、補償等の事務を行っている。火災を始め、あらゆる災害に対応できる能力及び体制を確立すべく教育訓練を実施し、団員の育成を図る。また、管理システムを利用し、表彰、報酬支給等の一元的な管理を行うことにより、事務の省力化及び迅速化を図る。				
事業の対象者	消防団員				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団活動に必要な被服の貸与、報酬、補償等の事務 ・訓練及び式典に係る事務 ・消防団員確保のための装備品の充実及びラッピングバス等の広報事業に係る事務 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	281,652	271,162	287,183	323,151	298,506
うち佐賀市の負担額	201,875	205,522	216,900	230,798	214,892

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
消防団員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,621	3,800 3,509	3,800 3,388	3,500 3,229	3,500 3,122		

成果指標②						単位
消防団訓練回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
125	250 78	250 112	250 220	250 195		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	団員確保のため、装備品の充実及び広報事業に取り組んでいるものの、団員数・訓練回数ともに目標値を下回っている。団員の負担軽減の観点からも、訓練は単に回数を増やすのではなく、効率性を重視した内容への見直しが必要。



今後の改善策、対応策等
年々消防団員数の減少が進み、消防団員の処遇改善の必要性が増している状況である。前年度実施した消防団アンケートの意見を踏まえ、活動環境の改善や新たな訓練体系の構築、入団しやすい環境づくりに努めたい。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

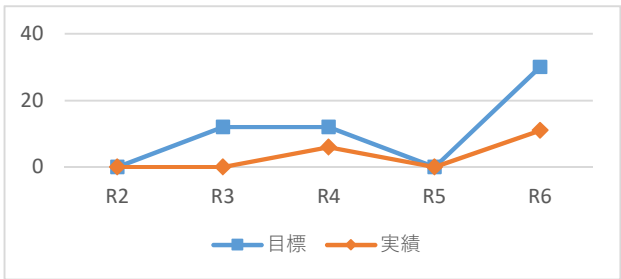
事務事業名	佐賀県消防操法大会出場経費	事業期間	昭和 25 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係	担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

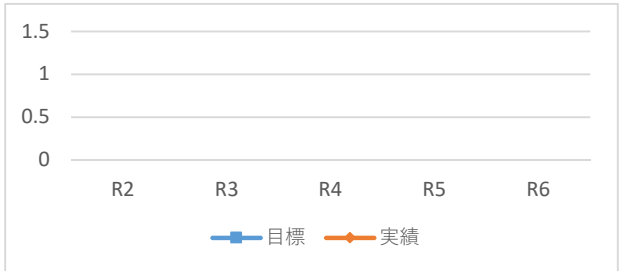
事業概要・目的	消防団員が、県下で消防操法の技術を競い、消防技術の向上と士気高揚を図ることで地域防災力強化に努めるもの。隔年実施で、7～8月ごろに実施される。 【実施年度】平成30年度、令和2年度（中止）⇒ 令和3年度（中止）、令和4年度（実施）、令和6年度（実施）※令和3年度は大会は中止となったが、事前訓練は実施している。				
事業の対象者	消防団員				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第38回佐賀県消防操法大会（7月28日開催）に佐賀市消防団から1隊（中部方面隊第5支団蓮池分団）が小型ポンプ操法の部に出場した。 ・大会に向けた訓練を5月15日から大会前日までの間、計30回訓練を実施した。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	1,242	1,061	0	6,174
うち佐賀市の負担額	0	1,242	1,061	0	6,174

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
出場団員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	12 0	12 6	-	30 11		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	佐賀市消防団の出場枠が1チームだったため、出場団員数は目標に達していないが、大会に向けた訓練では補欠隊員も含め十分な訓練が実施できた。一方で、訓練は対象の団員のみで行われるため、今後はサポート団員も含めた訓練体制の構築が必要である。



今後の改善策、対応策等
小型ポンプ操法及び自動車ポンプ操法が隔年で実施されており、概ね5月～7月まで大会出場に向けて操法訓練を実施されている。選手が訓練に集中できる環境を整えるとともに、特定の団員に限らず、出来るだけ多くの団員が訓練に係ることで、技術の平準化と全体の底上げを図る体制の構築を図りたい。

令和7年度 公共事業進捗報告シート

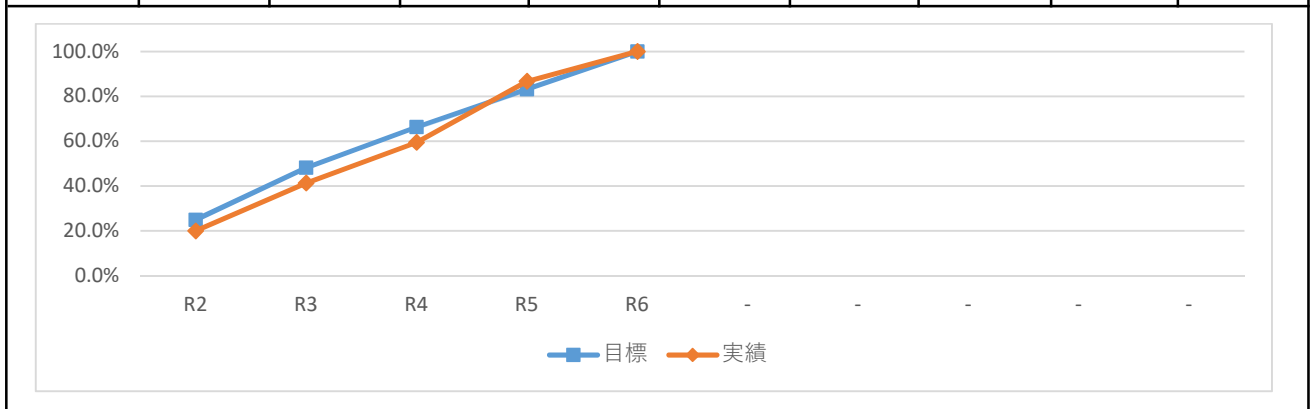
公共事業名	消防水利整備事業		事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係		担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち		
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実		
	基本事業	消防・救急体制の充実		

1 公共事業の基本情報

整備概要	防火水槽の整備及び消火栓の新設、移設、修繕等 (事業の進捗率は、総合計画・後期基本計画期間のR2～R6で進捗を示す)				
整備の目的	消火栓や防火水槽等の消防水利の整備を図り、消防用水を確保することで、火災発生時に迅速かつ効果的な消防活動ができる環境整備を行い、安心・安全な市民生活に寄与する。				
事業費決算 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
工事請負費	9,247	7,771		18,801	891
測量・監理等委託料	473	495		823	495
用地購入費	719				
補償費	95				
その他事務費等	33,104	28,053	30,794	26,868	27,618
計	43,638	36,319	30,794	46,492	29,004
うち佐賀市の負担	27,409	22,819	22,794	22,218	27,423
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					36,710
測量・監理等委託料					2,286
用地購入費					719
補償費					95
その他事務費等					146,437
計					186,247
うち佐賀市の負担					122,663

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	24.9% 20.0%		48.1% 41.3%		66.3% 59.4%		83.2% 86.7%		100.0% 100.0%					



令和7年度 事務事業進捗報告シート

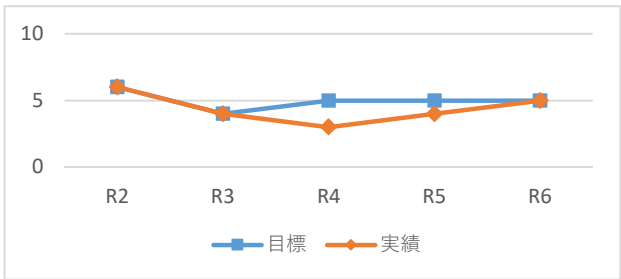
事務事業名	消防施設等維持管理事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係	担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

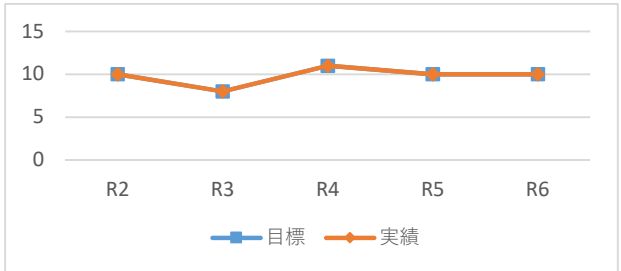
事業概要・目的	消防団の消防ポンプ、ポンプ積載車、消防格納庫等の消防設備の整備を計画的に進めるとともに、消防設備の整備・更新、維持管理を図り、火災発生時の消火活動に支障が出ない体制をつくる。				
事業の対象者	市民、消防団員				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・消防積載車車検及び点検整備 ・消防積載車及びポンプ修繕 ・消防格納庫及び防火水槽修繕 ・消防資機材の整備 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	31,943	31,156	41,776	35,219	34,858
うち佐賀市の負担額	30,193	29,365	39,980	33,476	33,133

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
消防格納庫建替棟数						棟
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6	4 4	5 3	5 4	5 5		



成果指標②						単位
消防積載車更新台数						台
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
10	8 8	11 11	10 10	10 10		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	消防格納庫の建替え及び消防積載車の更新をはじめ、消防設備の維持管理を図っている。



今後の改善策、対応策等
消防施設の更新及び消防資機材の整備を計画的に施行するとともに、消防施設等の不具合等が生じた際は早急に修繕し、日頃から点検整備を行うことにより、地域の防災力の維持及び向上を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	防災備蓄整備事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 防災対策係	担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	東日本大震災等の大規模災害の教訓を踏まえ、市民の避難所における生活環境の向上を図り、避難生活での不便をできるだけ解消するため、災害時に必要となる食料、飲料水、生活必需品及び資機材等の維持管理及び更新を行う。				
事業の対象者	市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・物資の補充、更新 ・防災備蓄倉庫の管理及び修繕 ・災害時に使用したマット類のクリーニング、再配備 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,301	8,980	6,788	2,342	2,705
うち佐賀市の負担額	7,468	5,330	5,083	1,957	2,480

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
食料の備蓄総量						食
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
57,642	37,105 58,814	37,105 54,904	37,105 46,295	37,105 39,680		

年度	目標	実績
R2	37,105	57,642
R3	37,105	58,814
R4	37,105	54,904
R5	37,105	46,295
R6	37,105	39,680

成果指標②						単位
毛布の備蓄総量						枚
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
11,173	11,595 13,110	11,595 14,133	11,595 14,241	11,595 14,240		

年度	目標	実績
R2	11,595	11,173
R3	11,595	13,110
R4	11,595	14,133
R5	11,595	14,241
R6	11,595	14,240

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	食料、毛布ともに備蓄目標を充足している。



今後の改善策、対応策等
<p>佐賀市防災備蓄計画に基づき、適正な管理、更新を行う。 更新する物品について、数量、内容等の必要な見直しを継続的に実施する。 佐賀市防災備蓄計画については、令和7年度中に更新を行う。</p>

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域防災計画管理事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 防災対策係	担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	危機管理対策の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	災害対策基本法の改定、佐賀県地域防災計画の修正及び防災に対する本市の新たな取り組み等を踏まえた佐賀市地域防災計画の見直しを行うとともに、佐賀市地域防災計画に基づく事業を実施することにより、防災・減災体制の充実を図る。				
事業の対象者	市民				
令和6年度 主な活動実績	・佐賀市地域防災計画の修正（R6.11表決⇒R6.12公表） ・佐賀市防災会議の開催（R6.5、R6.11） ※ R4～避難所看板整備に係る経費を避難所運営管理経費に移管				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	683	1,825	110	134	128
うち佐賀市の負担額	683	1,825	110	134	128

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
近所の避難場所・避難所を把握している割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
83.5	82.0 83.4	83.0 83.6	84.0 83.2	85.0 83.2		

成果指標②						単位
室内の地震対策や非常用持ち出し袋の準備をしている割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
26.9	36.8 26.9	41.2 25.9	45.6 26.4	50.0 26.4		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	生命、身体に危害が及ぶような大きな災害の経験がないことから、市民の防災意識が高くない状況となっている



今後の改善策、対応策等
（災害を自分事として捉えていただくため）平時の情報発信の方法をより身近なものにしていくことと、内容についても被災体験を語ってもらうなど、見直しを行っていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	自主防災組織育成事業	事業期間	平成 20 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 地域防災係	担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	自主防災組織の結成を促進するとともに、自主防災組織が行う防災活動及び資機材の整備に対し補助を行い、自主防災組織の育成・強化を図る。				
事業の対象者	自主防災組織が未結成の地区及び既存自主防災組織				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・職員出前講座等の実施 75回 ・自主防災組織が行う防災活動及び資機材の整備等に対する補助 延べ188組織 ・自主防災組織研修会の実施（R7.1.19 自主防災組織67組織、R7.1.19 自主防災組織未結成地区34組織） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,869	13,123	12,431	18,093	17,683
うち佐賀市の負担額	16,169	11,123	12,431	16,093	15,583

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
自主防災組織率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
79	80 79	82 83	84 84	86 84		

成果指標②						単位
研修会参加団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
95	105 78	115 152	125 120	130 101		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	未結成地区に対する研修会を実施したことにより、結成率は目標値を上回った。引き続き、研修会等により結成を促す。



今後の改善策、対応策等
自主防災組織未結成の地区に対し、職員出前講座等を実施しながら組織結成を呼び掛ける。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	避難確保計画推進事業	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 地域防災係	担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	浸水想定区域や土砂災害警戒区域内に位置し、佐賀市地域防災計画に定められた要配慮者利用施設について、義務化となった避難確保計画の作成及び避難訓練の実施を促進することにより、利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図る。 ※要配慮者・・・高齢者、障がい者、乳幼児、児童、傷病者、妊婦、外国人など、災害時等に特に配慮が必要な方（災害対策基本法第8条第2項）				
事業の対象者	市民				
令和6年度	・対象施設に避難確保計画作成の依頼文を送付 ・提出された避難確保計画の点検 ・未提出施設に再度作成依頼				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額		5,539	6,383	6,761	8,762
うち佐賀市の負担額		5,539	6,383	6,761	8,762

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
避難確保計画の作成率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
	60 82	100 99	100 100	100 100		

年度	目標 (%)	実績 (%)
R3	60	82
R4	100	99
R5	100	100
R6	100	100

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	佐賀市地域防災計画に位置づける要配慮者利用施設のうち、作成率は100%（981施設/981施設）となった。 ※令和6年度に廃止等された4施設は除く



今後の改善策、対応策等
新設施設に対して引き続き、作成に向けた支援を行い、作成率100%を継続するよう取り組むとともに、策定した施設については避難確保計画に基づいた避難訓練の実施を促進していく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

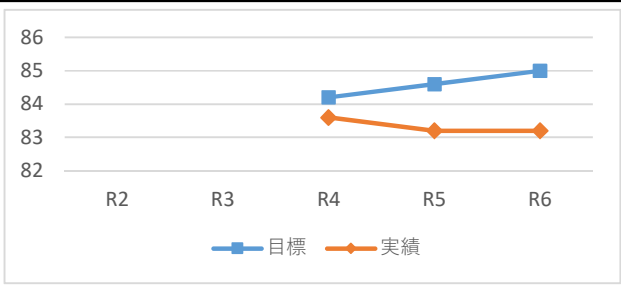
事務事業名	避難所運営管理事業		事業期間	令和 4 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 地域防災係		担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち		
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実		
	基本事業	地域の防災力の向上		

1 事務事業の基本情報

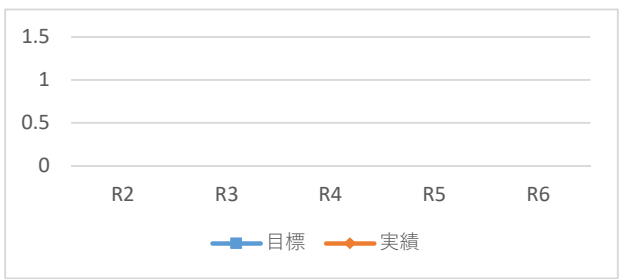
事業概要・目的	市の指定避難所等について適切な管理・運営を行う。このことにより災害時に市民が安心して避難所等を利用できるようにする。				
事業の対象者	市民				
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所に配置するタブレットの維持管理 ・避難所に設置する看板の整備及び修繕 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			3,578	4,854	2,380
うち佐賀市の負担額			2,261	4,614	2,380

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
近所の避難場所・避難所を把握している割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		84.2 83.6	84.6 83.2	85.0 83.2		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	生命、身体に危害が及ぶような大きな災害の経験がないことから、市民の防災意識が高くない状況となっている



今後の改善策、対応策等
繰り返し広報を実施し、認知度の向上を図る。出前講座の実施等、地域の防災力向上を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

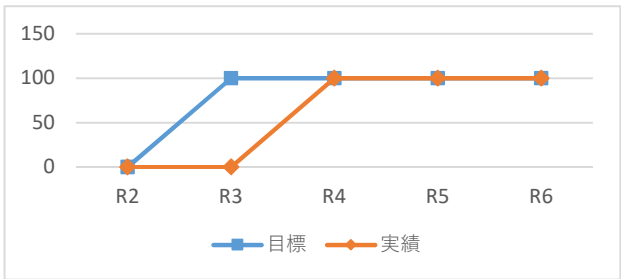
事務事業名	水防対策事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 地域防災係	担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	危機管理対策の充実	

1 事務事業の基本情報

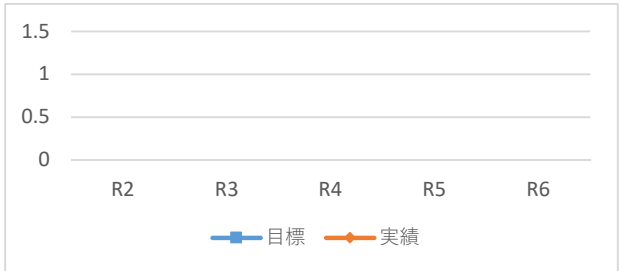
事業概要・目的	洪水・津波・高潮による水害を軽減させるため、水防用資機材を整備するとともに、消防団と連携した水防訓練を実施し水害発生時に備える。				
事業の対象者	市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・水防体制の設置（令和6年度水防体制 16回） ・消防団と連携した水防訓練の実施 ・水防資機材の整備 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,555	6,522	6,588	7,210	5,374
うち佐賀市の負担額	3,555	6,522	6,588	7,210	5,374

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
水防訓練参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	100	100	100	100		
	-	100	100			



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	水防訓練を実施するとともに、必要に応じて水防体制をとった。



今後の改善策、対応策等
水防工法の知識・技術を習得するとともに、消防団の連携・強化を図るため、水防訓練を実施する。また、水害発生時に備え、引き続き水防用資機材の整備を行う。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	水防センター維持管理事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 地域防災係	担当課長名	上野 良知
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	危機管理対策の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	嘉瀬川の堤防が洪水などで破堤した場合に備え、災害復旧に必要な資材を備蓄し、水防活動の拠点として水防センターの維持管理を行う。消防団と連携した水防訓練を実施し水害発生時に備える。				
事業の対象者	市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理 ・消耗品等の整備 ・消防団と連携した水防訓練の実施 ・佐賀市行事等での利用 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,919	1,558	2,028	1,906	2,114
うち佐賀市の負担額	1,919	1,558	2,028	1,906	2,114

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
水防訓練及び水防に関する講座等の実施回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	2 4	3 2	4 3	5 3		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	消防団と連携した水防訓練は実施したが、視察や講座の依頼が少なかった。



今後の改善策、対応策等
水防訓練の実施については、消防団と連携を図りながら、訓練の時期、参加人数、内容等を精査する。また、水防センター近隣の小学校等に防災教育の場としての利用を働きかける。